

各コースの訪問地と特徴

A(仏跡参拝コース)
 ドンガルカルとナグプールの訪問の後には、お釈迦様ゆかりの三大聖地を参拝します。ラジギールはお釈迦様の当時のマガダ国・王舎城で、ここでは法華経や観経が説かれました。ブダガヤはお釈迦様が悟りを開かれた八大聖地の中でも一番重要な聖地です。ペナレス郊外のサールナートは、悟りを開かれたお釈迦様が初めて説法をされた(初転法輪)の地です。

B(世界遺産コース)
 ドンガルカルとナグプールの訪問の後には、サンチーの仏塔群の見学です。お釈迦様を菩提樹、仏足、法輪などであらわした大変すばらしい仏伝彫刻の残る世界遺産です。また、インドと言えば誰も最初に思い浮かべるタージ・マハール、アグラ城、アンベール城など、5つの世界遺産を見学します。

C(仏教徒大会参列最短コース)
 お忙しい方の為の、ドンガルカルの25周年国際仏教徒大会の参列と、ナグプールの佐々井上人関係施設の訪問をするという最短のコースです。このコースのみキャセイパシフィック航空を利用しますので、成田、中部、関西空港3か所の発着地をお選びいただけます。

ナグプール
 地理的にはインドのへそに当たり、マハーラシュトラ州に属しています。英国統治下ではインド中央州全体の州都でした。人口210万、標高305mにあり、オレンジ栽培が盛んに行われています。1956年初代インドの法務大臣であるビームラオ・ラムジーアンベードカル博士が数十万人の人々と共に、仏教への改宗宣言を行い新たな仏教徒の誕生の場所でもあります。新見市出身の佐々井秀嶺師は、ここを中心に仏教活動を行っています。

マンセル・ラームテク
 南天鉄塔と目されるマンセル遺跡は、佐々井上人が発見発掘した大遺跡で、近年研究が進み龍樹菩薩との関係が証明されつつあります。日本人による再発掘プロジェクトも進行中です。ラームテクの龍樹菩薩大寺は、佐々井上人の活動の新たな拠点として2010年に落慶しました。寺の正面に巨大な蛇のように横たわる龍樹連峰は、ナーガールジュナ龍樹菩薩ゆかりの重要な場所と考えられます。

ドンガルカル仏教徒大会
 毎年2月6日、チャティスガル州ドンガルカル市で行われる世界仏教徒大会。市内のお寺から、郊外の智恵山の黄金の大仏まで地元のお教徒の人たちと一緒に進みます。2018年は25周年となり、盛大に行われます。

インド共和国の一般事情
 面積：327万平方km(日本の約9.5倍)
 人口：約12億人中国に次ぎ世界第2位
 通貨：ルピー(1ルピー=約2円)
 電圧：220V、50Hz、プラグ：B、B3タイプ
 時差：3時間30分(日本時間の正午はインドの午前8時30分)
 言葉：ヒンディー語、英語、タミル語など
 宗教：仏教、ヒンドゥー教、イスラム教、シク教、ジャイナ教

主な訪問地		1月	2月	3月
デリー	最高気温	21.4	23.7	29.4
	最低気温	6.3	9.6	13.9
ナグプール	最高気温	28.8	23.7	35.5
	最低気温	13.5	15.9	20.4

期間	2月4日(日)~2月12日(月) 9日間			2月5日(月)~2月12日(月) 8日間			2月5日(月)~2月9日(金) 5日間		
コース	A 仏跡参拝コース			B 世界遺産コース			C 仏教徒大会参列最短コース		
旅行代金	280,000円			290,000円			230,000円		
その他経費	燃油サーチャージ(8,000円)、個室利用料(54,000円)			燃油サーチャージ(8,000円)、個室利用料(54,000円)			燃油サーチャージ(11,000円)、個室利用料(21,000円)		
2017年2月4日(日)	成田空港 発 デリー 着	11:15 17:00	午前9時、成田空港集合 インド航空にてデリーへ 着後、ホテルへ ☒・✈・🏨(デリー:アショカントリーリゾート)	2月5日の各地空港出発時刻 成田空港発 10時30分 中部空港発 09時40分 関西空港発 10時00分					
2月5日(月)	デリー 発 ライプルー 着 シルプルー 着	5:25 7:05	早朝、国内線にてライプルーへ 着後、シルプルー遺跡の見学へ 見学後、早めにホテルへ ☒・✈・🏨(シルプルー:ヒエツァンリゾート)						
2月6日(火)	シルプルー発 ドンガルカル	朝	専用バスにてドンガルカルへ ドンガルカル国際仏教徒大会 25周年記念大会に参列	デリー 発 ライプルー 着 ドンガルカル	5:25 7:05	早朝、国内線にてライプルーへ 着後、ドンガルカルへ ドンガルカル国際仏教徒大会 25周年記念大会に参列	デリー 発 ライプルー 着 ドンガルカル	6:45 8:40	早朝、国内線にてライプルーへ 着後、ドンガルカルへ ドンガルカル国際仏教徒大会 25周年記念大会に参列
	ナグプール 着	夜	後、ナグプールへ 着後、ホテルへ ☒・✈・🏨(ナグプール:プライトホテル)	ナグプール 着	夜	後、ナグプールへ 着後、ホテルへ ☒・✈・🏨(ナグプール:プライトホテル)	ナグプール 着	夜	後、ナグプールへ 着後、ホテルへ ☒・✈・🏨(ナグプール:プライトホテル)
2月7日(水)	ナグプール	終日	終日、ナグプールの佐々井上人関係施設訪問(改宗広場、インドラ寺、マンセル遺跡、龍樹菩薩大寺、老人ホーム等) ☒・✈・🏨(ナグプール:プライトホテル)	ナグプール 駅発	22:05	ナグプールの佐々井上人関係施設へ(改宗広場、インドラ寺、マンセル遺跡、龍樹菩薩大寺) 寝台列車にてボパールへ ☒・✈・🏨(車中泊)	ナグプール	終日	終日、ナグプールの佐々井上人関係施設訪問(改宗広場、インドラ寺、マンセル遺跡、龍樹菩薩大寺、老人ホーム等) ☒・✈・🏨(ナグプール:プライトホテル)
2月8日(木)	ナグプール 発 デリー 着 デリー 発 パトナ 着 ラジギール 着	8:25 10:05 13:30 15:10 19:30	午前、国内線にてデリーへ 着後、空港内にて昼食 国内線を乗り継ぎ、パトナへ 着後、専用バスでラジギールへ 着後、ホテルへ ☒・✈・🏨(ラジギール:ホッケホテル)	ボパール 駅着 サンチー	6:30	着後、市内のホテルで朝食 後、世界遺産・サンチーの仏塔の見学へ(片道約1時間) 午後は早めにホテルに入ります ☒・✈・🏨(ボパール:ジャハンウマハレス)	ナグプール 発 デリー 着 デリー 発	10:20 12:05 22:30	午前、国内線にてデリーへ 着後、昼食の後、市内の見学(国立博物館、官庁街等) 後、空港へ 空路、香港へ ☒・✈・✈(機中泊)
2月9日(金)	 ラジギール 発 ブダガヤ 着	13:30 17:30	ラジギール参拝(霊鷲山、竹林精舎、ビンビサーラ王の牢獄跡、ナーランダ仏教大学跡) 後、ブダガヤへ ブダガヤ到着前、前正覚山参拝 ☒・✈・🏨(ブダガヤ:スジャータホテル)	ボパール 駅発 アグラ 駅 着	15:15 21:10	午前、世界遺産のビムベトカ岩窟群の見学 午後、特急列車にてアグラへ 着後、ホテルへ ☒・✈・🏨(アグラ:ジェヒールパレス)	香港 着 各地空港へ	6:15	着後、国際線の乗り継ぎ 各地空港へ それぞれの到着地で入国審査と通関の後、解散 ✈・✈・☒
2月10日(土)	ブダガヤ 発 ペナレス 着	13:00 20:00	ブダガヤ参拝(大精堂、金剛宝座と菩提樹、アショカ王柱、尼連禪河、スジャータ村等) 参拝後、専用バスでペナレスへ 着後、ホテルへ ☒・✈・🏨(ペナレス:ラマダホテル泊)	アグラ 発 ジャイプール 着	13:30 18:30	午前、アグラ市内の見学 白亜の霊廟タージ・マハールムガル帝国の城塞アグラ城 後、専用バスでジャイプールへ 着後、ホテルへ ☒・✈・🏨(ジャイプール:トライデント)	2月9日の各地空港到着時刻 成田空港発 14時05分 中部空港発 14時55分 関西空港発 12時35分		
2月11日(日)	ベナレス 発 デリー 着 デリー 発	16:50 18:30 21:15	早朝、ガンジス河の見学へ 朝食後、サールナート参拝(迎仏の塔、ダメーク塔、ムーラガンダクティ寺院、博物館) 国内線にてデリーへ 着後、国際線へ乗り継ぎ 空路、帰国の途へ ☒・✈・✈(機中泊)	ジャイプール 発 デリー 着 デリー 発	12:30 18:30 21:15	午前、ピンクシティと呼ばれるジャイプールの見学 世界遺産アンベール城風の宮殿など 昼食後、専用バスでデリーへ 着後、空港へ 空路、帰国の途へ ☒・✈・✈(機中泊)			
2月12日(月)	成田空港 着	8:45	着後、入国審査と通関の後、空港にて解散 ✈・☒・☒	成田空港 着	8:45	着後、入国審査と通関の後、空港にて解散 ✈・☒・☒	 改宗広場(ナグプール)		